

第35回 全国キリスト教学校人権教育セミナー

「今、わたしにできることを

—いのち・平和・人権—」

2025 年 8月11日（月）～12日（火）

関西学院大学梅田キャンパス



主 催

第35回全国キリスト教学校人権教育セミナー実行委員会

（メールアドレス zenkirisemi@gmail.com）

全国キリスト教学校人権教育研究協議会

（ホームページ <http://zenkiri.junyx.net>）

【開催の目的】

- ① キリスト教学校での人権教育のあり方を探求し、その課題を自覚し、理解を深めると共に、それぞれの現場での実践について考える。また情報交換し、励まし合う。
- ② キリスト教学校および公私立学校で人権教育に関心を持っている教職員、また人権教育に関心を寄せるキリスト者・市民・保護者・学生の出会いの場をもつ
- ③ 人権教育の実践に学び合い、分かち合い、建設的な関係を築く。

第35回全国キリスト教学校人権教育セミナー要項

「今、わたしにできることを ―いのち・平和・人権―」

■開催趣旨

2025 年に入り、国外でも国内でも大規模な山火事が起こりました。戦禍は収まらず、究極的な富の偏在と権力者の専横とが世を覆っています。教育の現場では、特に地方の私学、キリスト教学校に経済的圧迫が迫り、多様性と包摂性を目指してこれまで丁寧に取り組んできたことが継承されなくなっていく危惧があります。燃えさかる火の中でひとしずくの水を運び続けるハチドリのお話を想起し、この山火事のような状況下でも、命の尊厳・世界の平和・人権の確立に向けて歩んでいこうと、共に祈りつつ、希望と勇気を与え合うセミナーにしたいと思っています。

■日程：2025年8月11日（月・祝）12時30分～12日（火）16時30分

■会場：関西学院大学梅田校舎

（大阪市北区茶屋町 19 アプロースタワー10・14F）

最寄り駅：阪急神戸線 梅田駅 地下鉄御堂筋線 梅田駅または中津駅

●参加費：事前振込をお願いします。

- ・出張参加13,000円 / ・自費参加11,000円 / ・学生5,000円
- ・オンライン参加5000円

オンライン参加は11日に関学梅田校舎で行われるプログラムについてのみ可能です。

*参加費用は、締め切り日（7月18日）までにお振込みください。

*参加費にはセミナー諸費用、資料代、ニュース購読・協議会運営協力費が含まれます。

*12日の「歩く分科会」に参加ご希望の方は現地でフィールドワーク参加費2000円を別途お支払いください。

●申込み・振込締切：7月18日（金）までに、申込み専用サイトよりお申し込みください。

*締め切り日を過ぎたお申し込みは受け付けできません。

*8月10日にオプションとしてフィールドワークを実施いたします。詳細はこの要項の7pにあります。参加希望の方はセミナー申し込み用フォームの項目からお願いします。費用2000円を現地でお支払いください。

●申込み専用サイト：<https://x.gd/23AHF>

*当協議会ホームページ【<http://zenkiri.junyx.net>】からもアクセスできます（全キリで検索）。また、QRコードを読み取ってのアクセスもできます。

*パソコンやスマホを使用しない方は、電話 072-875-8470（日本基督教団部落解放センター）にご相談ください。



●参加費振込先：【 郵便振替口座 00180-3-731838

加入者名 人権教育セミナー実行委員会 】

＊「2025 セミナー参加費」と記入してください。

●宿泊：各自でご予約ください。会場は新幹線新大阪駅から約 6 分と交通至便です。周辺ホテルは万博の影響で取りにくく高額かもしれませんので、阪急宝塚線沿線（三国～石橋）・阪急京都線沿線（新大阪～茨木市）や地下鉄谷町線沿線（都島～大日）もお探してください。また、ゲストハウスなどのご利用も考慮されることをおすすめします。

●お問い合わせ：メールでお願いします。【 zenkirisemi@gmail.com 】

■主 催：第 35 回全国キリスト教学校人権教育セミナー実行委員会
全国キリスト教学校人権教育研究協議会

■後援 日本カトリック学校連合会、日本カトリック学校教育委員会、全国在日外国人教育研究協議会、キリスト教学校教育同盟、NCC 教育部

■賛 同：外国人住民基本法の制定を求める全国キリスト教連絡協議会／日本カトリック正義と平和協議会／日本カトリック部落差別人権委員会／在日韓国人問題研究所／在日大韓基督教会社会委員会／マイノリティ宣教センター／日本キリスト教協議会在日外国人の人権委員会／日本基督教団在日韓国朝鮮人連帯特設委員会／日本キリスト教協議会部落差別問題委員会／日本基督教団部落解放センター／日本キリスト教婦人矯風会／日本聖公会人権問題担当者／日本バプテスト同盟／日本バプテスト連盟日韓・在日連帯特別委員会／日本バプテスト連盟部落問題特別委員会／日本 YWCA／部落問題に取り組むキリスト教連絡会議／神戸学生青年センター／カトリック大阪高松教会管区シナピス／カトリック大阪高松教会管区部落差別人権活動センター／日本基督教団大阪教区部落差別問題特別委員会／大阪私立学校人権教育研究会

（6 月 7 日現在）

第35回全国キリスト教学校人権教育セミナー 日程

8月10日（日） オプション・フィールドワーク「コリアタウンに行く」 JR 鶴橋駅改札9:30集合	
8月11日（月・祝） 関学梅田校舎 （開会礼拝・主題講演・聖書研究） *印はオンライン視聴可能	
12:00 受付開始 12:30～ 13:00 ～14:00 14:15 ～14:45 15:15 ～16:15 16:35 ～17:20 18:10 ～20:00	※昼食は済ませておいでください。 開会礼拝 * オリエンテーション * 主題講演 川口加奈さん * 主題講演続き(質疑応答) * (質疑には加わっていただけません) 聖書研究 堀江有里さん * 協議会総会 * (休憩・「がんこ寿司梅田店」へ移動) 全国交流会
8月12日（火） 関学梅田校舎 （分科会・派遣礼拝）	
10:15	開場
10:30 ～11:30	分科会 前半 ①「どうすればいきいきした人権学習の授業ができる？」 講師:伏見裕子さん ②「在日コリアン×女性—複合差別を生きる」 講師:朴君愛さん ③「戦争を予防するマインドを創る～平和学ワークショップ～」 講師:奥本京子さん ④「ノンバイナリー・インクルーシヴな居場所づくり ～「女」「男」に当てはまらない人々の経験から～」 講師:武田今日子さん
9:20 近鉄南大阪線 ^{たかつし} 高鷺駅集合	⑤歩く分科会「部落差別をなくす食肉のまちづくりに学ぶ」 場 所:羽曳野市立人権文化センター・フィールドワーク
11:30 ～12:30	昼休憩(アプロースタワー地下や近隣の飲食店で)
12:30 ～14:30	分科会 後半 歩く分科会は15:00までに帰着

15:30 ～16:00	派遣礼拝(各分科会の祈り)
16:20	終了・解散・拡大実行委員会

プログラム内容

8月11日(月・祝)

- 開会礼拝
高橋彰さん(関東学院教会牧師)

■ 主題講演

講師：川口加奈さん

認定 NPO 法人 Homedoor (ホームドア) 理事長

14 歳でホームレス問題に出会い、ホームレス襲撃事件の根絶をめざし、炊出しなどの活動を開始。17 歳で米国ボランティア親善大使に選ばれ、19 歳で Homedoor を設立し、シェアサイクル HUBchari 事業等で生活困窮者ら累計 6000 名以上に就労支援や生活支援を提供する。Google インパクトチャレンジグランプリ、人間力大賞グランプリ、内閣総理大臣賞等を受賞。日経 WOMAN「ウーマン・オブ・ザ・イヤー2019」に選ばれる。「セブンルール」「プロフェッショナル 仕事の流儀」出演。株式会社リブセンス社外取締役。大阪女学院中高・大阪市立大学(現大阪公立大学)を卒業。1991 年 大阪府高石市生まれ。

講演題「14 歳でホームレス問題に出会って、19 歳で起業して

～誰もが何度でもやり直せる社会を目指して～

■ 聖書研究

講師：堀江有里さん(日本基督教団京都教区巡回教師)

1994 年に「信仰とセクシュアリティを考えるキリスト者の会(ECQA)」を仲間たちと一緒に始め、以降、「レズビアン」当事者として性的マイノリティの相談業務に関わってきました。性的マイノリティの断罪に聖書が利用される機会がまだまだ多く、どのような対話が可能なのか模索しています。

■ 全国キリスト教学校人権教育研究協議会(全キリ)総会

全国キリスト教学校人権教育セミナーは 1990 年から始まり、毎年 8 月のセミナーを継続する中で、1994 年に「全国キリスト教学校人権教育研究協議会」を結成しました。以来、現地実行委員会と共に毎夏の全国セミナーを企画・開催しています。総会ではこの 1 年間の活動報告を受け、これからの取り組みをみんなで考えていきます。

セミナー参加費には年会費が含まれています。参加者は1年間全キリ会員となり、総会議決権があります。事前に議案書と資料を送付しますのでぜひご出席ください。

- 全国交流会 がんこ寿司梅田店 (アプロースタワーより約 200 メートル)

8月12日(火)

■ 分科会

①「どうすればいきいきした人権学習の授業ができる？」

講師:伏見裕子さん

大阪女学院中学・高校出身。社会科教員として着任した大阪公立大学工業高等専門学校で人権教育を担当し、テキスト『ふらっとライフ』、『これからの社会を生きていくための人権リテラシー』の出版や人権科目の設置などに関わった。現在は、近畿大学文芸学部文化・歴史学科にてジェンダー論を担当。研究テーマは、出産をめぐる民俗と人権問題。

人間が生きていく上で欠くことのできないものが「人権」ならば、それは誰でも「教授」できるし、誰でも「学習」できるはず。でも何か特別な感じがして、どこから手を付けたいのか見当がつかない、できれば「その道のベテラン」がやってほしい。でも誰ができる？ さあどうしましょう。どんなやり方が今の生徒にあうでしょう。そういうことを、実際の学校現場で悩み実践してきた伏見さんと一緒に考えてみましょう。

②「在日コリアン×女性—複合差別を生きる」

講師:朴君愛さん^{ほくくね}

(一財)アジア・太平洋人権情報センター事務局長、

アプロ・未来を創造する在日コリアン女性ネットワーク代表

在日コリアンに対する民族差別やジェンダー不平等が根強い日本社会で、在日コリアンかつ女性であるというマイノリティとして、実態調査や食と生活に関する記録などの活動を続けておられる朴君愛さんからお話を伺います。「在日コリアン男性とは違う、日本人女性とは違う生きにくさ」を明らかにしたいという思いで仲間と活動してきた朴君愛さん。マイノリティのなかのマイノリティと言える人たちの存在や声にわたしたちは気づいてきたのでしょうか？教室の中に同じ立場の子どもたちがいます。教職員もいるでしょう。これから学びたい人、語り合いたい人、一緒に考えたいと思います。

③「戦争を予防するマインドを創る～平和学ワークショップ～」

講師:奥本京子さん

大阪女学院大学教員 専門は平和紛争学、紛争転換学、ファシリテーション研究など。日本平和学会第25期会長。特に、東北アジアにおける平和創造に焦点を当て、平和教育・トレーニングの実践を行う。ワークショップ・スタイルで如何に関係性を深化させることが可能かの追求や、市民社会・NGOによる平和活動を実践している。主な著書に、『平和ワークにおける芸術アプローチの可能性：ガルトゥングによる朗読劇 *Ho'o Pono Pono: Pax Pacifica* からの考察』

「戦後」80周年の今、世界では多くの戦争・武力紛争が後を絶ちません。希望を見出しにくいと言われるこの時代に、東北アジアで平和創りを行うNGOの実践に学びつつ、戦争予防・武力紛争予防のための具体的な話し合いをしましょう。本分科会では、おしゃべりが苦手という方も大歓迎です。自然にお互いに関われるよう工夫しながら、私たち市民一人ひとりができる平和創りを共に考えます。ちょっとした身体表現を通じて楽しんだり、身近なところから考えたりできるように構成していますので、安心してご参加ください。

④「ノンバイナリー・インクルーシヴな居場所づくり～「女」「男」に当てはまらない人々の経験から～」

講師：武内今日子さん（関西学院大学）

関西学院大学社会学部助教。大学では、社会学やセクシュアリティ論、クィア・スタディーズの授業を行っており、男女に当てはまらないノンバイナリーの経験について研究している。主著に『非二元的な性を生きる：性的マイノリティのカテゴリー運用史』（明石書店、2025年）がある。

「わからない」「ただの流行りでしょ」——「LGBTQ」が可視化されつつある現在でも、ノンバイナリーやXジェンダーなど「女」「男」に当てはまらない性を生きる人びとの経験は知られておらず、排除的な言葉がしばしば向けられています。しかし、ノンバイナリーの人たちは、「女」「男」の二つの性別を当たり前とする社会の中でも、何とか居場所をつくり、自分の経験を言葉にしてきました。この分科会では、当事者の居場所づくりの実践をインタビューや文献資料からたどりながら、ノンバイナリーの人がどんな困難を抱えているかを示していきます。そして、教育現場でどのようにしてノンバイナリー・インクルーシヴな場をつくっていきけるか、皆さんと語り合いたいと思います。

⑤歩く分科会「部落差別をなくす食肉のまちづくりに学ぶ」

※現地集合 午前 9 時 20 分 近鉄南大阪線 高鷲駅改札 12:30 終了後関学に戻ります。

案内・お話：向野まちづくり協議会

幕末には被差別部落の祖先が皮革職人としてと畜をし、皮革が作られ、甲冑や太鼓の革、墨や伝統工芸、日本画などに欠かせない膠などが生産され私たちの暮らしや日本文化が育まれました。現代社会では、これらの肉、皮、コラーゲン（膠、ゼラチン）、油脂、骨粉などの素材の生産と活用が多く企業や技術者によって発展し、私たちの暮らしや文化が豊かに形作られています。分科会ではフィールドワークと地域からのお話を通して部落差別をなくす教育内容を具体的に考えます。

■ 派遣礼拝

各分科会での学び・気付きからの祈りをともに祈り、それぞれの持場へ向かうときとします。

メッセージ：柳川朋毅さん（イエズス会社会司牧センター）

8月10日（日）

■ オプション・フィールドワーク

「コリアタウンに行く」

案内：阿部慶太さん（フランシスコ会 JPIC 委員会）

集合：JR 鶴橋駅改札 9:30 昼食は現地でとります。15時前に解散

現在、観光地化が著しいコリアタウンですが、観光地化される韓流ブーム以前は差別や滞日・在日コリアンと日本社会との軋轢や指紋押捺拒否闘争など、共生のために多くの活動が行われた地域でもありました。風化していくこうした部分の証言を聞きながらコリアタウン周辺を歩いてみたいと思います。

.....

「全キリ グラウンド・ルール」とは、「人権教育セミナー」に参加されるすべての方たちが、セミナー中や終了後も不快な思いをせずに気持ちよく過ごすための基本的な約束事です。セミナープログラムはもとより、協議会の総会の進め方などにも適用される内容です。

(2009年8月6日発足、2015年8月17日改訂、2019年8月6日改訂、2021年6月オンライン版作成、2023年6月改訂)

全キリ グラウンド・ルール

初めて参加される方への配慮と共に、以下の点についてどうぞご協力ください。

1. 無理のない範囲で、積極的に参加なさってください。
 - ・お互いのペースや、うちとけ方を尊重しましょう。
 - ・参加者が自由に話せるように、お互いに耳を傾けましょう。
 - ・話したくないことは話さなくてかまいません。
2. 守秘義務を守ってください。
 - ・セミナーで見聞きした個人情報、その場のみにとどめてください。名前・所属・写真・事例などを、本人の許可なく他者に漏らすことは「アウティング」となり許されません。
 - ・いまインターネットではマイノリティに対する不当なスピーチがまん延しています。SNSへの安易な投稿は避けてください。
 - ・セミナー報告を他の媒体に掲載する際、とくにマイノリティ当事者が講師の場合、必ず本人の了解をとって報告記事をまとめるようにしてください。
3. セミナーにはさまざまな参加者がおられます。
 - ・参加者の中には、自分とは異なる生活スタイル・価値観・問題をもっている人がいることを理解しましょう。
 - ・自分の国籍・セクシュアリティ・経済的状況・職場の状況などを話したいとは限りません。
 - ・批判し、話し合いを深めることは大切です。しかし互いに尊重し合い、人格を否定するような言動はしないよう心掛けましょう。
 - ・セミナーの目的からかけ離れた個人的な宣伝はご遠慮ください。
4. 言葉による暴力・セクハラ・パワハラは厳禁です。
 - ・たとえ怒りなどの感情をもつことがあったとしても、それを他の参加者に向けて攻撃したりしないようお願いします。
 - ・相手や当事者が不快に思う言動は、ハラスメントです。私たちは誰でも両当事者となり得ることを心に留めましょう。
5. セミナー中は、携帯電話をマナーモードに切り替え、他の方々の迷惑にならないようお願いします。
6. オンライン視聴するみなさんへのお願いとご注意
 - ・正規の手段以外でミーティングIDや招待URLを入手した方の参加は固くお断りいたします。
 - ・個人での録画、録音、スクリーンショット等の撮影はご遠慮ください。主催者側が必要に応じて録画などの記録をとります。
 - ・差し障りのない限り、画面には参加申込時の名前を表示してください。(正規の参加者と、そうでない方を判別するためです。)ただし会場での大画面への投影はありません。
 - ・マイクは「ミュート」にしてください。申し訳ありませんが質疑には加われません。
 - ・参加者用リンクは、申込をされた方だけにお送りしています。他の方には公開なさないでください。

セミナー中に差別や人権侵害と思われる言動を見聞きした場合、可能ならばその場で注意を喚起するとともに、実行委員会にお知らせください。実行委員会・運営委員会が必要な対応をします。